

平成25年度

教科・科目名 科学年コース	コミュニケーション英語 I 普通・航空科 1年	授業時間数/週	3時間
授業の目標	中学校3年間の指導を踏まえ、本文の理解を深めながら、情報で英文を習得する。		
授業内容の方法	1.内容理解 2.音声練習 3.例題と練習問題 4.章末問題		
評価方法について	試験 80点 評点 20点		
使用テキスト 教科書 副教材	Compass-English communication I Compass-English communication I Workbook		
年間授業計画	前期 4月 Lesson 1 Dear Fifteen-year-olds 5月 Lesson 2 Nature's Number Ones 6月 Lesson 3 Kimonos are Cool! 7月 Lesson 4 Brave Mari and Her Puppies 9月 Lesson 5 Saki's First Trip to Australia	後期 10月 Lesson 6 Blue Skies 11月 Lesson 7 The World of Colors 12月 Lesson 8 The Ig Novel Prize 1月 Lesson 8 The Ig Novel Prize 2月 Lesson 9 The story of Chocolate 3月 Lesson 10 The Coral Crisis	

平成25年度 普通科・航空科1年 年間学習計画

学期 月 配当時間	単元 項目 学習内容	学習のねらい ポイント	学習活動 (評価方法)
前期 4月 配当時間 9時間	自己紹介 Lesson1 Dear fifteen-year-olds ・現在形・過去形 ・未来を表す表現 ・進行形 ・前置詞句による修飾	アンジェラ・アキ、野口健、毛利衛のメッセージを読みながら、将来の希望、出会いの大切さ、言葉が人に与える勇気などについて考えさせる。基本動詞やbe動詞・一般動詞の違いなどを理解させながら、自分自身について基本動詞を使い英語で話ができるようになることを目指す。	導入(単元の内容について問題提起) ↓ 新出単語確認 ↓ 文法確認 ↓ 本文の文法確認 ↓ 基本問題(解説) ↓ まとめ
5月 配当時間 9時間	Lesson 2 Nature's Number Ones ・比較表現(最上級) ・比較表現(比較級) ・比較表現(同等比較) ・助動詞	世界一、日本一はなんだろう?という素朴な疑問から出発し、自然や動物、人間を育む地球環境の大切さについて認識させる。比較表現や助動詞に関しては、中学校で学んだ知識を再確認するとともに、身近な話題や自分の好みについて述べたりする際、使えるようになる。地名、動物名、度量衡、早さの単位など、重要な情報を示す単語の発音や、世界の国々の地図上の位置についても基本的知識を確認しておきたい。	導入(単元の内容について問題提起) ↓ 新出単語確認 ↓ 文法確認 ↓ 本文の文法確認 ↓ 基本問題(解説) ↓ まとめ
6月 配当時間 10時間	Lesson 3 Kimonos are Cool! ・S+V+C ・接続詞 ・S+V+O ・受動態	着物を題材にして日本の伝統文化の豊かさを認識させるとともに、異文化コミュニケーションにおいては自国の文化を理解し説明できるようにしておくことが重要である点を学ばせる。日本文化について1つでも英語で説明できるようになる。会話を扱う課であるので、The fact is...などの表現がどのような場面で使われるか、相手との人間関係を保つのにどう役立っているか、という言語の機能面にも目を向けさせたい。	導入(単元の内容について問題提起) ↓ 新出単語確認 ↓ 文法確認 ↓ 本文の文法確認 ↓ 基本問題(解説) ↓ まとめ
7月 配当時間 10時間	Lesson 4 Brave Mari and Her Puppies ・不定詞(名詞的用法) ・不定詞(形容詞的用法・副詞的用法) ・分詞 ・動名詞①(主語、動詞の目的語)	災害に見舞われながらも、人と動物が強い絆で結ばれている様子を描いた物語を読み、命の大切さや人と動物の触れ合いについて考えさせたい。不定詞・分詞・動名詞については、中学校で学んだ知識を整理し、これらの文法事項を含んだ英文を自分で言えるようになることを目指す。話の流れを追いながら英文を読んで内容がイメージできるようにしたい。	導入(単元の内容について問題提起) ↓ 新出単語確認 ↓ 文法確認 ↓ 本文の文法確認 ↓ 基本問題(解説) ↓ まとめ 前期試験
9月 配当時間 10時間	Lesson 5 Saki's First Trip to Australia ・現在完了(完了・結果) ・現在完了(継続) ・間接疑問文 ・動名詞②	海外での異文化体験に対する興味・関心を高めたい。現在完了の典型的な使い方について簡単な会話で使えるようになることを目指す。海外旅行でよく遭遇する場面を扱っているので、それぞれの場面で起こる異文化コミュニケーションにおける問題や留意点についても触れながら、英語で話すためにはどのような子心構えが必要なのかについてもかんがえさせたい。	導入(単元の内容について問題提起) ↓ 新出単語確認 ↓ 文法確認 ↓ 本文の文法確認 ↓ 基本問題(解説) ↓ まとめ

後期 10月 配当時間 10時間	Lesson 6 Blue Skies ・疑問詞+to不定詞 ・S+V+O+to不定詞 ・関係代名詞① ・代名詞①	本文を手本として過去の出来事を平易な英語で表現できるようになることを目指す。固有名詞を使う際は、地図上の位置を示すなどして生徒たちの興味を喚起したい。	導入(単元の内容について問題提起) ↓ 新出単語確認 ↓ 文法確認 ↓ 本文の文法確認 ↓ 基本問題(解説) ↓ まとめ
11月 配当時間 10時間	Lesson 7 The World of Colors ・関係題名詞② ・S+V+O+O ・代名詞② ・It is~for人to...	憂鬱な気持ちだ(feel blue)うらやましくてしかたがない(green with envy)など人間の色に対するイメージは言語や文化により様々である。言語、文化、科学的な内容を説明する英文を読み、文構造や論理構造を的確に捉えながら自分の力で内容を理科できるようになることを目指す。	導入(単元の内容について問題提起) ↓ 新出単語確認 ↓ 文法確認 ↓ 本文の文法確認 ↓ 基本問題(解説) ↓ まとめ 後期中間試験
12月 配当時間 9時間	Lesson 8 The Ig Nobel Prize ・関係題名詞③ ・関係代名詞④ ・S+V+O+O ・It is ~that...	イグノーベル賞の名前の由来にも触れながら、科学研究の面白さや社会への貢献について認識させたい。関係代名詞など文構造を複雑にする要素を扱うので、生徒が自力でこれらの構造を含む英文が読めるようになることを目指す。研究や問題解決に関わる語彙にも慣れさせておきたい。	導入(単元の内容について問題提起) ↓ 新出単語確認 ↓ 文法確認 ↓ 本文の文法確認 ↓ 基本問題(解説) ↓ まとめ
1月 配当時間 9時間	Lesson 8 The Ig Nobel Prize ・関係題名詞③ ・関係代名詞④ ・S+V+O+O ・It is ~that...	イグノーベル賞の名前の由来にも触れながら、科学研究の面白さや社会への貢献について認識させたい。関係代名詞など文構造を複雑にする要素を扱うので、生徒が自力でこれらの構造を含む英文が読めるようになることを目指す。研究や問題解決に関わる語彙にも慣れさせておきたい。	導入(単元の内容について問題提起) ↓ 新出単語確認 ↓ 文法確認 ↓ 本文の文法確認 ↓ 基本問題(解説) ↓ まとめ
2月 配当時間 10時間	Lesson 9 The story of Chocolate ・関係副詞 ・現在完了進行形 ・分詞構文 ・代名詞	チョコレートという身近な食品について、地理、歴史、製造過程、生産者の課題など多面的な考察ができる点に気づかせたい。関係副詞をはじめとする多様な文構造を含む英文を理解し、それを手本としてテキストの概要や自分が言いたいことを表現できるようになることを目指す。好きなもの「こと」について述べる活動では、その理由を複数挙げさせて考えながら英語を話すことに慣れさせたい。	導入(単元の内容について問題提起) ↓ 新出単語確認 ↓ 文法確認 ↓ 本文の文法確認 ↓ 基本問題(解説) ↓ まとめ
3月 配当時間 9時間	Lesson 10 The Coral Crisis ・関係代名詞 ・助動詞+受動態 ・仮定法過去① ・仮定法過去②	自然環境の美しさと、地球が直面する環境問題の重大さについて改めて生徒の注意を喚起したい。1年のまとめの課として、身近な話題について写真などの資格資料を用いながら簡単なプレゼンテーションができるようになることをめざす。環境問題について主体的に考えたり、自らの主張を述べたりする力も育てたい。	導入(単元の内容について問題提起) ↓ 新出単語確認 ↓ 文法確認 ↓ 本文の文法確認 ↓ 基本問題(解説) ↓ まとめ 後期期末試験